

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【公開番号】特開2008-286651(P2008-286651A)

【公開日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-047

【出願番号】特願2007-132239(P2007-132239)

【国際特許分類】

G 0 1 N	33/68	(2006.01)
C 1 2 Q	1/26	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/573	(2006.01)

【F I】

G 0 1 N	33/68	
C 1 2 Q	1/26	
G 0 1 N	33/50	B
G 0 1 N	33/53	S
G 0 1 N	33/53	P
G 0 1 N	33/53	X
G 0 1 N	33/573	A

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月18日(2010.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被験者の生体サンプル中における、ポリアミンから生成されるアルデヒド体、インターロイキン-6、及びC反応性蛋白質の含有量、並びに、ポリアミンオキシダーゼ活性又はポリアミンオキシダーゼの蛋白質量を測定し、得られた測定値と被験者の年齢を指標として無症候性脳梗塞を検出する方法。

【請求項2】

被験者の生体サンプル中における、アクロレイン、インターロイキン-6、及びC反応性蛋白質の含有量、並びに、ポリアミンオキシダーゼ活性又はポリアミンオキシダーゼの蛋白質量を測定し、得られた測定値と被験者の年齢を指標として無症候性脳梗塞を検出する方法。

【請求項3】

生体サンプル中における、ポリアミンから生成されるアルデヒド体、インターロイキン-6、及びC反応性蛋白質の含有量、並びに、ポリアミンオキシダーゼ活性又はポリアミンオキシダーゼの蛋白質量を測定し、得られた測定値と被験者の年齢から数学的な統計解析を行い、統計学的に有意な変化を与える値を得、その値に基づき無症候性脳梗塞を検出する方法。

【請求項4】

生体サンプル中における、アクロレイン、インターロイキン-6、及びC反応性蛋白質の含有量、並びに、ポリアミンオキシダーゼ活性又はポリアミンオキシダーゼの蛋白質量を

測定し、得られた測定値と被験者の年齢から数学的な統計解析を行い、統計学的に有意な変化を与える値を得、その値に基づき無症候性脳梗塞を検出する方法。

【請求項 5】

生体サンプル中における、ポリアミンから生成されるアルデヒド体、インターロイキン-6、及びC反応性蛋白質の含有量、並びに、ポリアミンオキシダーゼ活性又はポリアミンオキシダーゼの蛋白質量を測定し、得られた測定値と被験者の年齢から、ニューラルネットワーク手法によって数学的な統計解析を行い、統計学的に有意な変化を与える値を得、その値に基づき無症候性脳梗塞を検出する方法。

【請求項 6】

生体サンプル中における、アクロレイン、インターロイキン-6、及びC反応性蛋白質の含有量、並びに、ポリアミンオキシダーゼ活性又はポリアミンオキシダーゼの蛋白質量を測定し、得られた測定値と被験者の年齢から、ニューラルネットワーク手法によって数学的な統計解析を行い、統計学的に有意な変化を与える値を得、その値に基づき無症候性脳梗塞を検出する方法。

【請求項 7】

精度95%以上を示す、請求項1～6のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

感度95.5%以上、及び特異度94.3%以上を示す、請求項1～6のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

生体サンプル中における、ポリアミンから生成されるアルデヒド体、インターロイキン-6、及びC反応性蛋白質の含有量、並びに、ポリアミンオキシダーゼ活性又はポリアミンオキシダーゼの蛋白質量を測定するための試薬を含む、無症候性脳梗塞を検出するためのキット。

【請求項 10】

生体サンプル中における、アクロレイン、インターロイキン-6、及びC反応性蛋白質の含有量、並びに、ポリアミンオキシダーゼ活性又はポリアミンオキシダーゼの蛋白質量を測定するための試薬を含む、無症候性脳梗塞を検出するためのキット。

【請求項 11】

無症候性脳梗塞を検出するためのシステムであって、

生体サンプル中における、ポリアミンから生成されるアルデヒド体、インターロイキン-6、及びC反応性蛋白質の含有量、並びに、ポリアミンオキシダーゼ活性又はポリアミンオキシダーゼの蛋白質量を測定するための試薬：及び

数学的な統計解析を行うための電子処理機器及びソフトウェア：を含む前記システム。

【請求項 12】

無症候性脳梗塞を検出するためのシステムであって、

生体サンプル中における、アクロレイン、インターロイキン-6、及びC反応性蛋白質の含有量、並びに、ポリアミンオキシダーゼ活性又はポリアミンオキシダーゼの蛋白質量を測定するための試薬：及び

数学的な統計解析を行うための電子処理機器及びソフトウェア：を含む前記システム。